新年度を迎えるにあたり

校　長　佐々木　秀之

桜の花は開花から三週間を過ぎ、葉桜へと変わっています。小学校の入学の日を誰よりも待っていた90名の1年生。「今年も！」と大いに張り切っている480名の上級生。そして、子供たちのためにと一丸となった53名の教職員。本日、大泉小学校の令和5年度が始まりました。

＊

新型コロナウイルスより、この三年間は多くの行事等を中止せざるを得ませんでした。しかし、少しずつ今までと同じような日常を取り戻しつつあります。本日、始業式・入学式を行いました。文部科学省、スポーツ庁、東京都、練馬区より示されたガイドラインに基づき、学校における感染症対策を行いながら充実した教育活動を行うよう、努めてまいります。

そして、「全ての教育活動は大泉に学ぶ子供たちのためにある」ことを常に念頭に置き、**「子供と教職員が活力に満ち、満足できる学校」「学ぶ意欲を高め、確かな学力が身に付く学校」「保護者が安心でき地域が誇りに思う学校」**を目指し、魅力ある学校づくりをしてまいります。毎日の教育活動に関しては、以下の4つを教育活動の基準として、充実した教育活動を行うよう、努めてまいります。

4つの教育活動基準（SNCE）
○　子供たちに安全で安心できるものであるか（Safety 安全）
○　子供たちの「知・徳・体」をはぐくむものであるか（Nurture はぐくみ）
○　保護者の皆様が納得できるものであるか（Consent 納得）
○　最小限で最大の効果を生むものであるか（Efficiency 効果）

＊

どんなに世の中が変わり社会が変化してもよりよく生きたいという子供たちの願いは変わりません。そして、その願いを実現させるのが教育であり学校の力です。社会の変化を見据え、一人一人が個人として自立し、社会の一員としてそれぞれの分野でたくましく生き抜いていくため、「真の生きる力」を身に付けさせるための教育を教職員の英知を結集して努力してまいります。

どうぞ、ご理解・ご協力をお願いいたします。